

たまボラ



2018 VOL. 12
2018/3/31発行

発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中心3-912-3
電話：042-564-0012（代表）
FAX：042-564-3680

東大和ボランティア・市民活動センター ～しゃきょうのたまちゃんがお伝える東大和のボランティア情報紙～

いつ起こるかわからない 災害に備えて

～助けられる人から助ける人へ～



避難所支援の一環で足湯の方法を教わっている様子

3月17日(土)に、**災害ボランティアセンター設置・運営訓練**をハミングホールで行いました。

東大和市社会福祉協議会では、大きな災害が発生した場合、市民・市役所・関係機関等と協働で災害ボランティアセンターを設置・運営することになっています。

今年度も、センターを設置する予定である**ハミングホール**を利用し、実践的な訓練を実施しました。また今回は土曜日に訓練を実施することで、より多くの方々に災害ボランティアセンターを知っていただけるようにいたしました。

市民・関係者合わせて**112**名の参加がありました。



～訓練全体の流れ～



災害ボランティアセンターって



災害からの復興には、ボランティアの力が欠かせません。いざ災害が起きた時には市内や市外からたくさんのボランティアが応援に来てくれます。センターは、ボランティアを受け入れ、被災者の困りごとに応じるように調整していくところです。

↑東日本大震災の時の災害ボランティアセンターの様子です。

午前

午前中は、災害ボランティアセンターの運営に関わるスタッフの訓練を行いました。

- ①スタッフの役割を確認
- ②被災者役からの電話相談を受ける(どんなことに困っているかなどをお伺いします。)
- ③被災者宅に訪問し、状況の確認(直接現場に行きボランティアが何人必要か、困っていることなどの再確認をする)



←被災者役からの相談の電話を受けている様子。



被災者宅に行き聞き取りをしている様子。



午後



←受付をしている様子



マッチングの様子→



←避難所に見立てた場所で、避難所支援の内容を体験してもらいました。

午後からは、市民の方々もボランティア役として参加していただき、災害ボランティアセンターの、災害時の役割等について学んでいただきました。

- ①スタッフ役がボランティアの受付が行えるようにセッティング
- ②ボランティア受付
- ③オリエンテーション
(注意事項等を伝える)
- ④マッチング(活動したい場所を選ぶ)
- ⑤送り出し(活動先の細かい状況を聞き、支援用資機材を持って被災者宅を訪問)
- ⑥ボランティアが現場で活動
- ⑦反省会

○初めて災害ボランティアの訓練に参加しました。参加するまで、自分が災害時にボランティア側に立つということが想像できなかったのですが、避難所でお年寄りが自分の体がなかなか自由に動かせないことから、人に迷惑をかけまいとトイレにも行かず食べ物や飲み物も受け取らずにいることがあるという話を聞き、とても悲しい気持ちになりました。そこで、少し声をかけ、起き上がりを手伝ってあげることやお話を聞いてあげることがボランティアになるということを知りました。特別なことが出来なくても、私でもできることがあるのだと思い意識が変わりました。災害時は誰もが不安だけれど、人と人との触れ合いが災害を乗り越える力になるということに改めて感じました。起き上がるのが困難な方への介助の仕方、また毛布ガウンや段ボール足湯や、ホットタオルなど様々なことを知ることができ、とても勉強になりました。



○参加する前までは、自分のことで精一杯になるであろう自分がボランティアの方々と一緒に参加できない…と不安でしたが、いざ始めると毛布ガウンの作り方やホットタオルの作り方、高齢者の方のおこし方など、大変役に立つ知識をたくさん教えていただき助かりました。また災害に対する危機意識も高まりましたので良い経験になりました。ありがとうございました。3. 11から7年経ってしまい、自分の意識もだいぶくなってきているな…と再確認しました。

○ホットタオル、毛布ガウン、段ボール足湯など初めて知ることばかり教えていただき、とても有意義な時間を過ごせました。震災以降、各地で災害がおきていて、いつこの地域に大きな災害が起きてもおかしくないと思うようになりました。今回の訓練のように自分の身に置き換えて考えられる機会があるのはとてもありがたいと思いました。

【東大和JC(青年会議所) 住吉 良太さん】

3月17日(土)ハミングホールにて行なわれた災害ボランティアセンター設置・運営訓練にスタッフ役として参加させて頂きました。午前中は被災者の方からの電話受付、また実際に被災者のお宅へ訪問して状況の聞き取りを行った他、その情報の整理を行ないました。午後は、被災者を訪問するボランティアの方に整理した情報を説明して送り出しを行ないました。

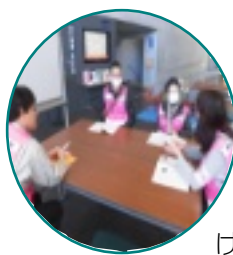
訓練を通じて強く感じたのは情報共有の難しさです。聞き取った情報を自分ではなく、送り出し係がボランティアの方に伝える訳ですから、それを踏まえて聞き取りや情報の整理をしなければなりません。このあたりは有事の際にも丁寧にする必要性を感じました。また、今回の訓練では「現場でスカイプを使い、現場の状況をリアルタイムで本部と共有する」訓練も行いましたが、現場で接続が上手く行かずに困るという場面がありました。災害に関わるボランティアと言うと、炊き出しや力仕事のイメージが強いですが、情報機器やネットワークに関わる知識も災害時には求められる時代になった事を痛感する出来事でした。

下は4歳から上は90歳までと非常に幅広い年代の参加者が集まり、非常に充実した訓練でしたが、20代、30代の参加者が少なかった事は残念でした。情報機器の取り扱いにも長けた若い世代が参加する事で更に充実した訓練になると感じます。「タブレットやスマートフォンの操作に長けている」、「Wi-Fiやネットワークへの接続方法が分かる」、本人は大した事がないと思っけていても、それは災害時に役立つスキルです。来年以降は、そんな方達にも是非とも参加して頂ければと思います。



災害時のボランティアの役割を皆さんに理解して頂き今回の訓練の目的が達成できました。

感想にも書いてあるように、もっと多くの若い世代に参加して頂けるように働きかけたいです。



参加者
募集!

傾聴ボランティア養成講座

聴く力を磨き豊かな
コミュニケーション力を身につけませんか?

5/ 8.15.22.29
6/ 5 毎週火曜日

人と人との
向き合い

他者を受け
止める力

信頼される
コツ

- 時 間：13時30分～16時
(6/5のみ17時まで)
- 回 数：全6回(うち実習1回)
- 参加費：3,500円
- 場 所：社会福祉協議会
- 講 師：後庵正治氏 (NPO法人P.L.A)
- 募集人数：定員21名・申込締切り4/20(金)
(申込み多数の場合は抽選)

※参加要件：全6回出席できること
受講後に傾聴ボランティアとして活動できること

【申込み先】

東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：042-564-0035 FAX：042-564-3680
担当 山崎



紹介

ボランティアグループ

東大和傾聴聞き書き隊

傾聴・聞き書き隊は、NPO法人白十字在宅ボランティアの会主催の「聞き書きボランティア養成講座」に参加した仲間が中心となり活動を始めました。

傾聴・聞き書きの目的には、お年寄りに敬意を払い、歩んできた人生や想いを聞かせて頂くことや、歴史や知恵を学び冊子にまとめ残し伝えることがあります。

高齢者の方は語ることで、記憶の糸を手繰り寄せ、記憶や想いを深めていくこともあるようです。

私たちの訪問を楽しみに待っていたり、出来上がった冊子を何度も読みかえしたりしていることを聞くと嬉

しくなります。初めての方も不安なく参加出来る活動です。“無理なく楽しくを大切にしています”と代表の田村さん。是非一緒に活動しませんか。



【活動内容】

ご自宅やグループホームなどの施設等を、月1回程度訪問し、お話をお聞きします。

(聞かせて頂いたお話は冊子にしてプレゼントすることもあります。)

【年会費】1,000円



■問合せ

東大和ボランティア・市民活動センター
TEL 042-564-0035 FAX 042-564-3680
担当 山崎

ボランティア募集中！

市内の情報

新規

子どもの見守り・遊び相手の ボランティア

子ども

公民館講座で出来た団体「ほっぺ@ひがしやまと」が開催している子連れリフレッシュカフェに参加されるお子さんの見守りや遊び相手をしてくださるボランティアを募集！

- ◆日時 概ね月に1回開催
9:30～15:00(都合の良い時間でOK)
- ◆場所 ファーマーズセンター
- ◆問合せ 東大和ボランティア・市民活動センター
TEL 042-564-0035

※団体のFacebookもあります

新規

障害児の朝の登校支援 ボランティア

子ども

市内在住の小学生のお子さんを自宅から第九小学校まで送ってくださるボランティアを募集しています。朝の登校支援になります。

- ◆日時 7:50～8:20 / 曜日は応相談
- ◆場所 児童の自宅から九小まで
- ◆問合せ 東大和ボランティア・市民活動センター
TEL 042-564-0035

単発

第29回 わんぱく相撲 東大和場所 目指せ！国技館 のお手伝いをしてくれるボラン ティア！！

一般

- ◆日時 5月13日(日) 12:00開場/受付
- ◆会場 東大和市 Rondominnnaの体育館
(市民体育館)
- ◆問合せ 東大和青年会議所
042-562-9139
メール/higashiyamato2018wanpaku@gmail.com



単発

うまかんべえ祭りの お手伝いのボランティア

一般

- ◆日時 4月21(土) 22日(日) 9:00～16:00
 - ◆場所 都立東大和南公園
 - ◆問合せ 東大和ボランティア・市民活動センター
TEL 042-564-0035
- ※事前説明会あり。
詳細はお問い合わせください。



市外の情報

～ ボランティアはじめませんか ～

ボランティア
講座ご案内

都立特別支援学校公開講座 ボランティ養成講座

支援学校では、障害のある方の地域における活動を支援するボランティア養成講座を実施します。障害のある方とふれあいながらボランティア活動の基本的な知識・技能を身につけませんか。

	日程	時間	内容等
1	6/23(土)	9:00～12:30	開講式・オリエンテーション・講義「ボランティアとは」
2	6/30(土)	9:00～12:45	講義「障害者理解と特別支援学校教育①」
3	9/1(土)	9:00～12:45	講義「障害者理解と特別支援学校教育②」
4	10/6(土)	9:00～13:00	講義「障害者理解と特別支援学校教育③」

- 対象者：都内在住・在勤・在学の方
- 参加費無料(交通費・保険料は自己負担)
- 場所：都立羽村特別支援学校
- 詳細はホームページをご覧ください。
- 申込み・問合せ先 【TEL】042-554-0829 【FAX】042-555-3853 担当 加藤



ぼらセン からのお知らせ



■ ボランティア保険加入と更新のお願い

新年度を迎えるにあたり、ボランティア保険の加入はお済でしょうか。

ボランティア保険とは、ボランティア活動中や往復途上でケガをされてしまい通院等が必要となった場合、医療費自己負担分等の一部が保障されるものです。また、損害賠償も対象になります。

ボランティア保険は、年度ごとに加入が必要になります。ボランティア活動をしていて、まだご加入されていない方は、早めの手続きをお願いいたします。

個人ボラ、ボラグループとしてセンターに登録されている方は、書類を提出していただければ、加入の申し込みが完了になります。

ボランティア保険についてご不明な点がありましたら、お気軽にご相談ください。

【問合せ】東大和ボランティア・市民活動センター

TEL：042-564-0035

担当 山崎まで



NEW

★「フレンドリーわん」が、新しくボランティアグループとして登録されました。

犬を介して、高齢者の皆さんに癒しをお届けするアニマルセラピー活動で、人と犬との共同作業による福祉活動をおこなっています。ご興味のある方は、ボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください。



■ 手話講習会開講のお知らせ

5月より手話講習会が開講されます。

興味・関心のある方は、是非お申込みください。

詳細は、4月1日号の市報または4月15日号の社協だより、社協ホームページをご覧ください。

【問合せ】東大和市社会福祉協議会 担当：関田



市民情報etc

■主催：玉川上水野火止用水ネットワーク東大和 ～ 野火止用水樹木観察会 ～

日時：5月14日（月）13：30～16：00

集合場所：東大和市駅改札口前

観察場所：野火止用水

（雑木林の道 玉川野火止コース2・3）

講師：下村憲司氏

募集人数：先着20名

参加費：なし（行事保険未加入）

申込先：副代表 長峰トモイ

TEL/042-567-5924（夜7時以降）

■主催 みんなの家まつり実行委員会 ～バザー品提供のお願い～

（古着・人形・大型家具・電化製品はご遠慮下さい）

第25回みんなの家まつり

5月20日（日）10：00～14：00

東大和市役所中庭

※雨天実施

問合せ：第二みんなの家

TEL/042-567-0267 FAX/042-567-0258



編集部から

今回の「たまボラ」は災害ボランティアセンター設置・運営訓練の様子を特集しました。参加されたみなさんの活躍の裏で、違った活躍をしていただいた方もたくさんいます。

その一人が向原にお住いの遠藤芳子さん。今回のプログラムにあった高層住宅にお住まいの方への支援。遠藤さんには自宅を被災場所として提供していただきました。個人宅を訓練（部屋をわざとちらかしたり、知らない人が何人もおしかけてくる。）のために提供していただくなんて、なかなかできることではないと思います。「訓練は大切なこと、多少のことは気にしないから、好きに使ってください。」と言って快く部屋を貸してくださった遠藤さんに感動です。



鎌田